

拝啓

早やゴールデンウィークが目前となり、木々の新緑が目映える頃となりました。お元気でお過ごしのことと思います。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。第 61 号をお送り致します。今ははなみずきの花が満開ですが、はなみずきの花びらには、四箇所黒い点があります。あれは十字架につけられたイエスの傷跡を示す、と言われていました。

神谷美恵子先生の文章を 7 回にわたってお送りしてまいりましたが、本を読みながら、なんとすばらしい方だろうと驚嘆する思いでした。

神谷美恵子先生の翻訳されたマルクス・アウレリウス（ローマの皇帝・ストア派の哲学者）の書いた「自省録」（岩波文庫）を読みました。（この本の扉には、「故 三谷隆正先生に捧ぐ」とありますから、三谷隆正先生から読むように勧められたのでしょう）。その本の冒頭。

「祖父ウエールズからは、清廉と温和を教えられた。

父に関して伝え聞いたところと私の記憶からは、つつましさと雄々しさ。

母からは、神をおそれること、及び惜しみなく与えること。悪事をせぬのみか、これを心に思うさえ控えること。また金持ちの暮らしとは遠くかけはなれた簡素な生活をする事」

とあります。昭和 23 年発行ですから、神谷先生 35 歳のときです。お若いころから、こんな倫理的な本を読み、翻訳までされていたのですね。

来月からは金田福一先生の本からの引用にしたいと思います。

4 月 14、15 日と伊豆大島に行き、14 日（土）は、昨年もお会いした相沢良一先生（「黒潮」を発行されていた牧師、90 歳）のお宅を訪問し、昼食をご馳走になり、長時間歓談してまいりました、先生の書齋で沢山の著書を拝見しながら、本の著者についてあれこれ感想をお話したのも楽しかったですし、その他、南原繁先生、矢内原忠雄先生、三浦綾子先生、三浦光世さん、日野原重明先生、神谷美恵子先生のことなど、共通して尊敬する諸先生の思い出を聞きました。神谷先生以外は、現役の牧師でおられたころ、伊豆大島に講演でお招きし、会っておられました。特に三浦綾子先生は、2 週間ぐらい相沢先生のお宅に滞在し、ある療法の治療をうけられたとお聞きしました。これらの著名な先生に共通なことは、「謙遜」であった、ということが印象的でした。

翌日は、山の会の仲間（夫婦 6 組）で、三原山登山をしました。好天に恵まれ、よい登山でした。

それでは、どうぞ皆様も良いゴールデンウィークをお過ごし下さい。

平成 19 年 4 月 28 日

山口周三

エンカウンターのご読者各位